

観光をめぐる現状について

2014年1月17日

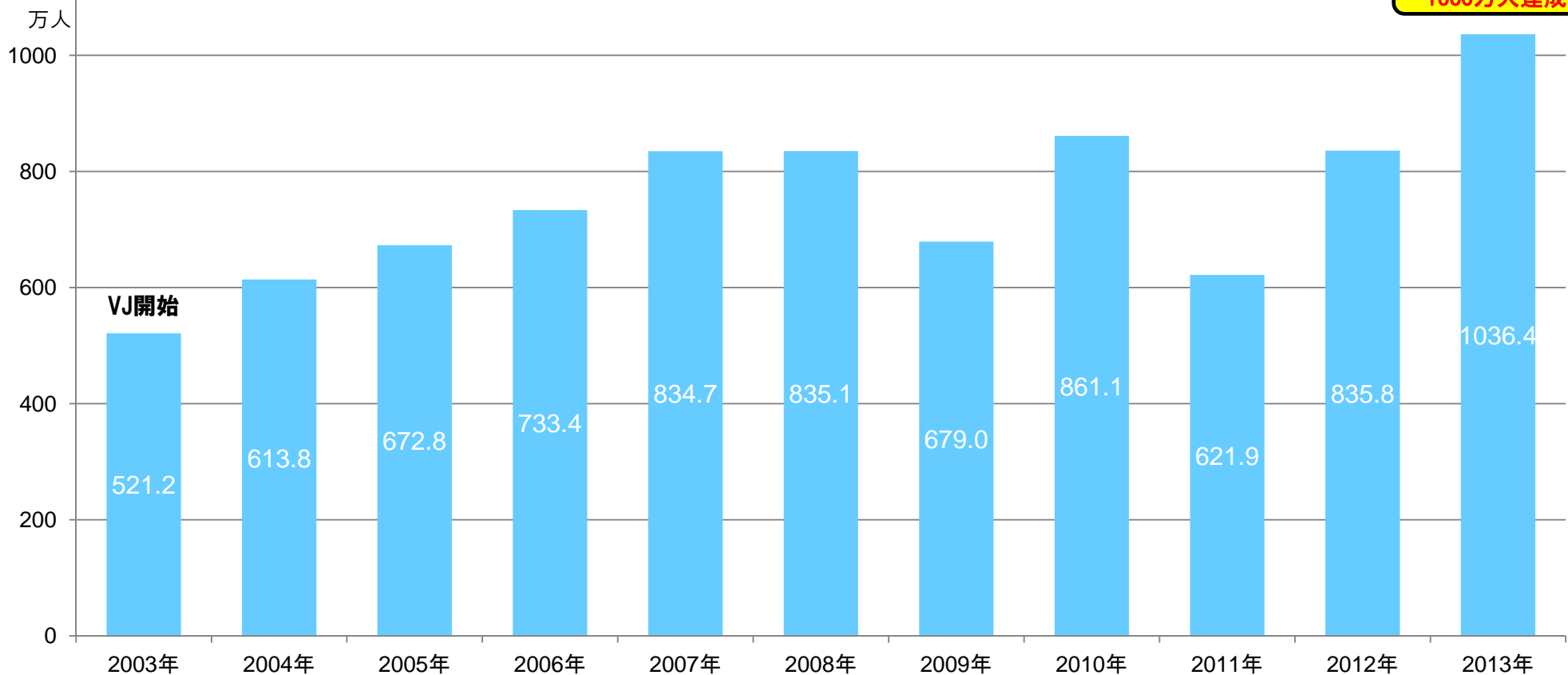
観光庁

訪日外国人旅行者数1000万人の政府目標を達成

- 2013年の訪日外国人旅行者数は、1036万人（前年比24.0%増）となり、2003年のビジット・ジャパン事業開始以来の政府目標であった年間1000万人を史上初めて達成した。
- 円高の是正による訪日旅行の割安感の浸透の他、昨年7月以降のビザの緩和、訪日プロモーションなど、政府及び官民を挙げて取り組んできた諸施策が奏功したことによる成果と考えられる。

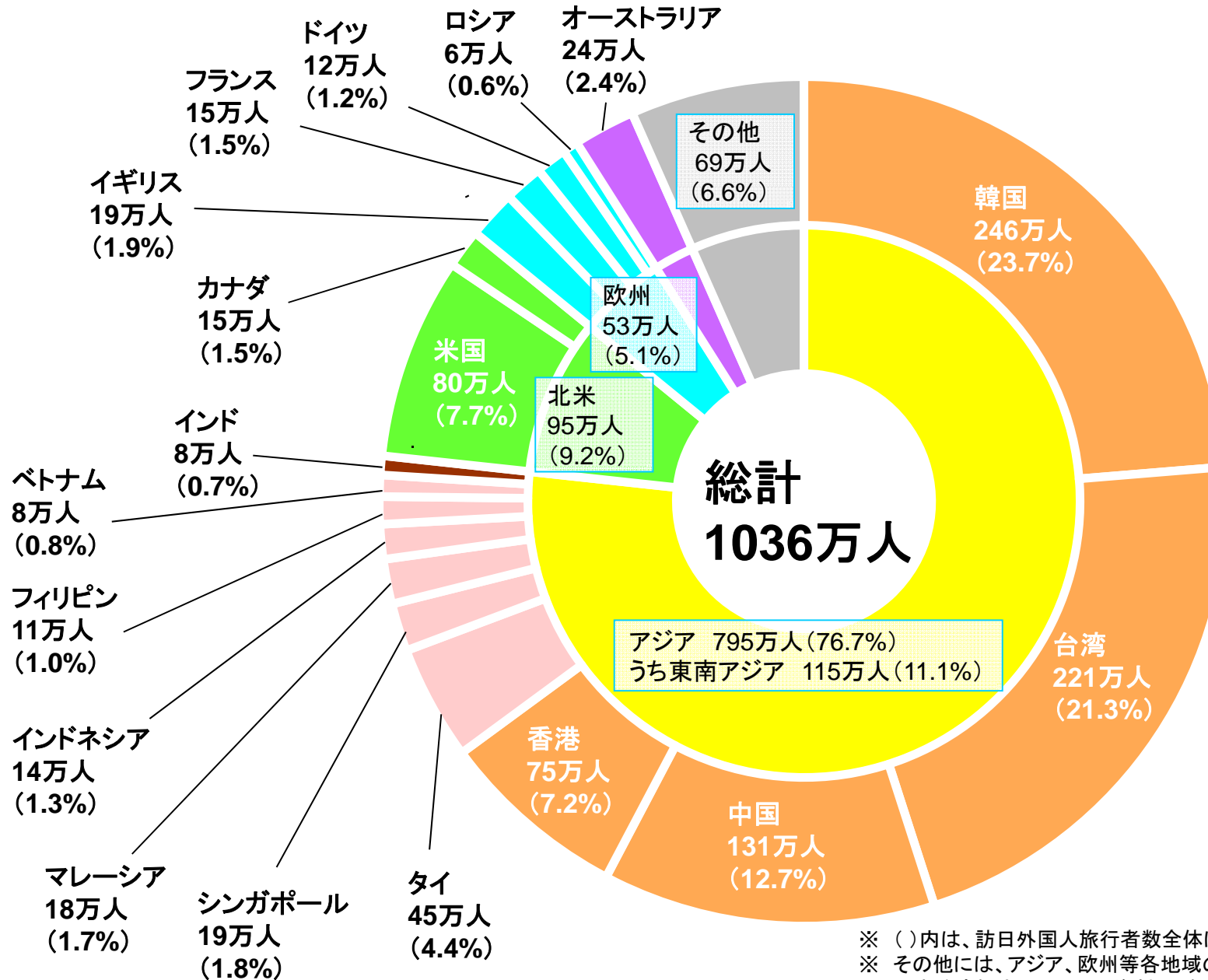
訪日外国人旅行者数の推移

史上初
1000万人達成



2013年の訪日外国人旅行者数及び割合(国・地域別)

(2013年推計値)

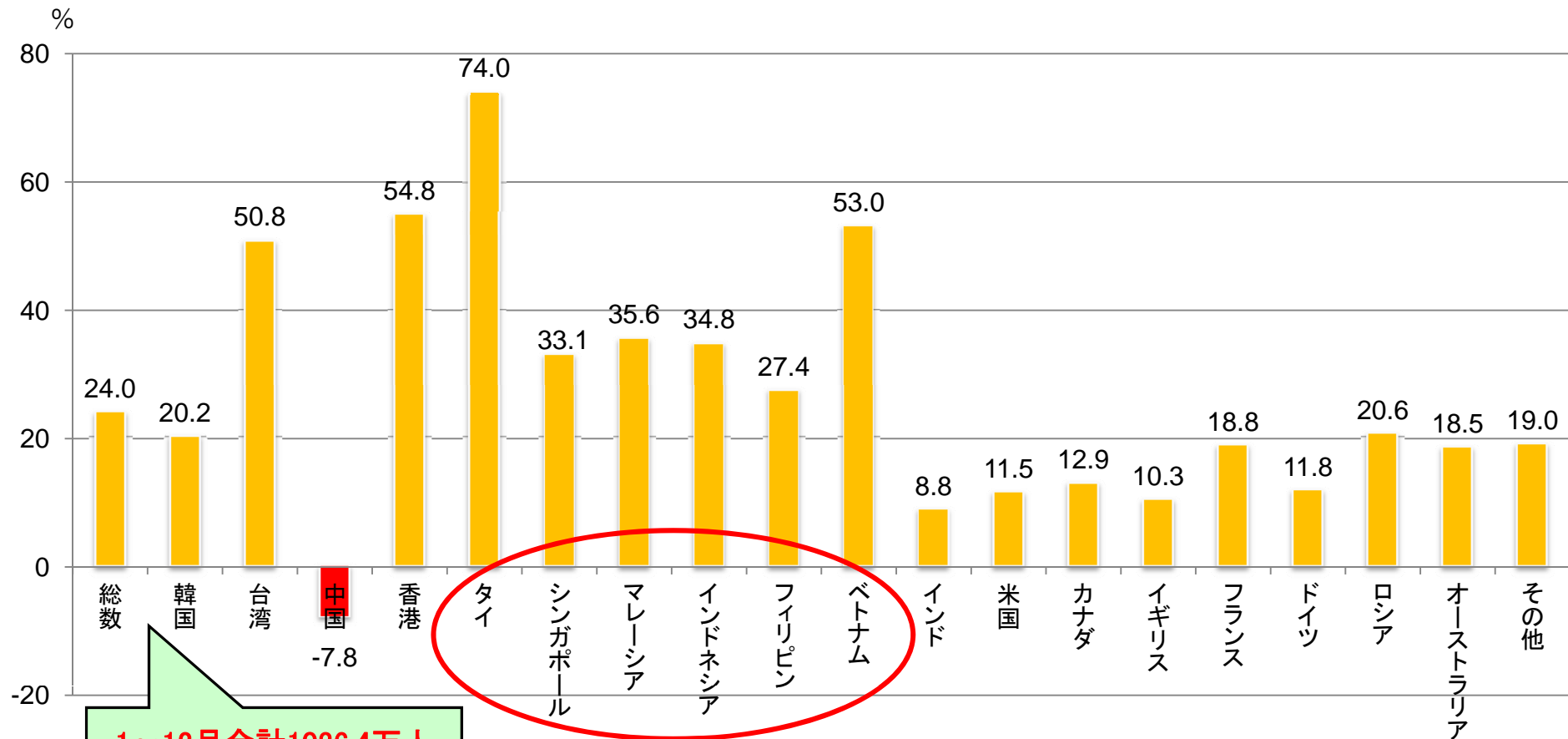


※ ()内は、訪日外国人旅行者数全体に対するシェア
 ※ その他には、アジア、欧州等各地域の国であっても記載のない国・地域が含まれる。
 ※ 日本政府観光局(JNTO)資料より観光庁作成

2013年の訪日外国人旅行者数の増減率(国・地域別)

○ 国・地域別では、昨年7月以降ビザ緩和を行った東南アジア諸国を含むアジア地域を中心に高い増加率を示した。

国・地域別増減率(2013年1～12月の前年同期比)



1～12月合計1036.4万人
前年同期比 24.0%増

(出典)日本政府観光局(JNTO)

①日本ブランドの作り上げと発信

- オールジャパンの体制による連携強化・拡大
 - ・2013年6月20日、観光庁、経済産業省、日本政府観光局(JNTO)、日本貿易振興機構(ジェトロ)の4者により「訪日外国人増加に向けた共同行動計画」を策定。
- クールジャパンと一体となった日本ブランドの発信
- 新たな視点に立った訪日プロモーションの実施

③外国人旅行者の受入の改善

- 出入国手続の改善
- 交通機関による快適・円滑な移動のための環境整備
- 多言語対応の改善・強化
- 訪日外国人旅行者の利便性の向上
- 免税制度のあり方の検討
 - ・2014年10月(予定)より、免税対象品目の拡大と手続の簡素化を行うことを2014年度税制改正大綱で決定。
- 地域の観光ポテンシャルの最大化

②ビザ要件の緩和等による訪日旅行の促進

- ビザ要件の緩和
 - ・2013年7月1日より、タイ・マレーシアをビザ免除、ベトナム・フィリピンを数次ビザ化、インドネシアの数次ビザに係る滞在期間を延長。さらに、同年11月18日よりカンボジア・ラオスを数次ビザ化。本年1月15日よりミャンマーを数次ビザ化。
- 利用しやすい宿泊施設の周知
- 航空ネットワークのさらなる充実

④国際会議等(MICE)の誘致や投資の促進

- 国を挙げた一体的な国際会議等(MICE)誘致体制の構築
- 都市のMICE受入環境の整備